



地域連携室だより

第 19 号（平成 30 年 2 月 13 日） 君津中央病院 地域医療センター



センター長のつぶやき

地域医療センター長 八木下敏志行

当院では昨年 10 月から常勤医の血液・腫瘍内科医が勤務し、本年 4 月から常勤の膠原病内科医が勤務する予定です。これまで非常勤医の応援に頼ってきた診療科ですが、常勤医が勤務することにより、地域の皆様に提供できる医療の幅が増します。

一方、4 月の診療報酬と介護報酬の改定で、国の政策はこれまで以上に在宅医療を重視し、医療機関同士、医療機関とケアマネジャーとの連携に報酬が加算されます。君津中央病院は地域医療支援病院としてこれまで以上に地域の皆様に医療を提供し、医療機関、福祉施設及び事業所との連携を図りたいと考えております。



ボランティア花展において出品者からの説明を聞く
八木下地域医療センター長



がんパスの紹介（1）

医務局 外科 / 地域医療センター 地域連携室

平成 18 年に「がん対策基本法」が成立してから、10 年が経過しました。この間、国及び都道府県のがん治療対策は、がん対策推進基本計画を基に都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院等の治療体制を整備し、進めてきました。

千葉県は、がん治療の分野における“循環型地域医療連携システム”を構築するために、千葉県共用がん地域医療連携パス（以下「がんパス」といいます。）を作成しました。がんパスは、それぞれの医療機関が役割分担しながら、がん患者を 5 年間にわたって併診していくシステムです。

当院は、地域がん診療連携拠点病院として平成 22 年からがんパスを運用し、地域の医療機関の先生方と連携しながらがん患者の治療にあたってきました。がんパスは、基幹病院と地域のかかりつけ医療機関との関係が切れることなく、がん患者を地域全体でフォローしていくための有効なツールです。

このたび、がんパス連携医療機関の先生方の協力を得て、がんパス運用に係るアンケートを実施しました。その結果は 3 ページに示すとおりで、「パスシートの使いやすさ」で「やや使いにくい」が 32.4%、「がんパス運用の印象」で「やや不満」が 5.1%、「これからのがんパス運用」で「続けない方がよい」が 2.6%の回答もいただきましたが、全体的には、がんパスの受入れは概ね良好であることが分かりました。

この結果を受けて、当院では、これからもがんパスを地域医療連携の有効なツールとして継続していく所存です。



■自己紹介

2017年10月から君津中央病院血液・腫瘍内科に赴任いたしました細木卓明（ほそき たかあき）と申します。出身は北海道で、自治医科大学を1998年に卒業し、北海道で地域医療に貢献。自治医科大学の義務年限終了後は旭川医科大学消化器・血液腫瘍制御内科で学位を取得しつつ、血液内科、腫瘍内科、消化器内科の研鑽を積んでまいりました。今回はご縁があり、当院に赴任させていただいております。

■現在の診療体制

当院における血液・腫瘍内科の常勤医は、2004年以来13年ぶりの着任となります。その間は千葉大学血液内科、亀田総合病院血液腫瘍内科など近隣にあります病院の先生方、また、当血液・腫瘍内科の顧問である伊藤国明先生による非常勤医師での外来体制を取っておりました。

10月以降は非常勤医師による外来体制を維持しつつ、外来2診体制を取らせていただいております。今までは常勤医がいなかったため患者様の緊急時の対応を考え、化学療法は近隣の血液内科の先生にお願いしていた形でしたが、現在は悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形性症候群における化学療法の件数を徐々に伸ばしつつある状況です。

入院病床に関しましては、常勤医不在の期間が長かったこともあり、新たに体制を整えようとしている状況です。もう少しお時間をいただくことになると思いますが、体制が整えばサルベージ療法までの治療は可能となってくるものと考えております。

新規の患者様に関しましては、原則小生が対応させていただいております。現在は、ほぼご依頼いただいた日程どおりで対応させていただいておりますが、多少日程を調整させていただく場合もありますのでご容赦ください。

■当科への患者紹介にあたり

患者紹介に関しましては、事前に情報（病歴、採血結果など）をいただければスムーズに診察対応が可能となりますので、ご面倒でも地域連携室を介して患者情報を送付くださいますと幸いです。また、血液疾患患者は比較的長期生存例も多く、患者様の健康管理を含めた医療連携はますます重要となります。当科から地域の先生方に診療をお願いすることも多くなると思いますので、その際はよろしくお願いいたします。

■今後の展望

現在は、血液内科を中心に体制強化を図っておりますが、今後は、腫瘍内科の分野への体制拡張、また、新たな常勤医を確保し、血液・腫瘍内科体制をより強固にできるよう努めてまいります。

地域の患者様で、血液疾患が疑われる症例がありましたら、まずは君津中央病院の血液・腫瘍内科にご紹介くださいますよう、よろしくお願いいたします。

（血液・腫瘍内科 細木卓明）



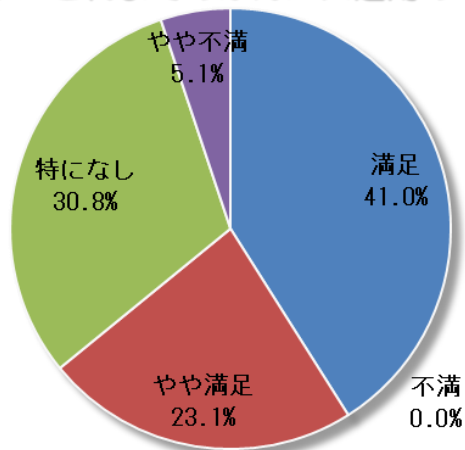
(1 ページから続く)

■千葉県共用がん地域医療連携パス（がんパス）運用に係るアンケートの結果

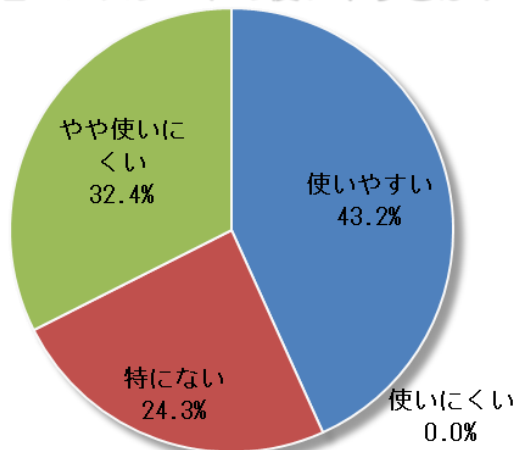
アンケート実施期間 平成 29 年 11 月 13 日（月）～12 月 18 日（月）

がんパス連携医療機関 46 施設 54 人の先生に宛てて実施。回収率 72.2%。

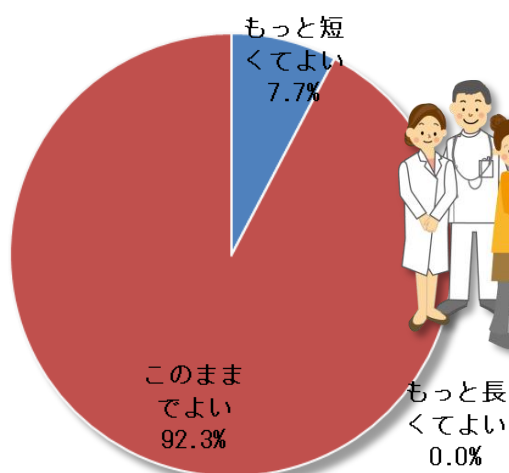
問1 これまでのがんパス運用の印象は？



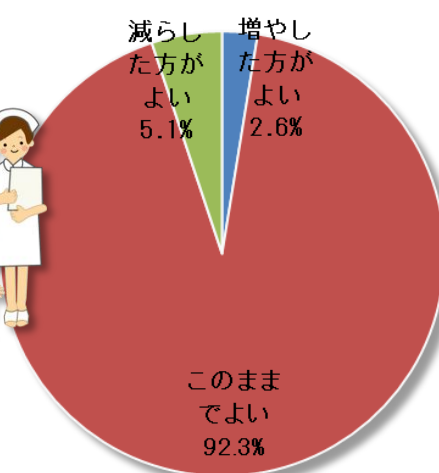
問2 パスシートの使いやすさは？



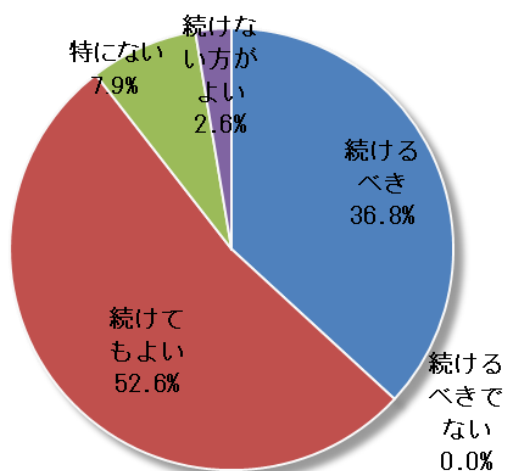
問3 観察期間の間隔は？



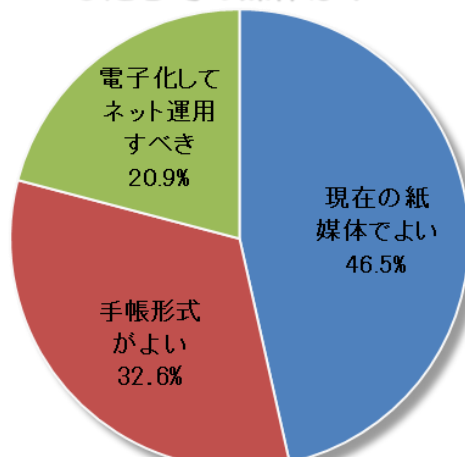
問4 定期検査は？



問5 これからのがんパス運用について



問6 今後がんパスを続けていくとしたらその媒体は？





■地域の医療従事者向け研修等

- 12月 9日(土) 第10回君津地域訪問看護つなぐ会〔圏域訪問看護関係者〕
 12月 16日(土) 訪問看護基礎研修会〔圏域看護師〕
 12月 22日(金) 第23回かずさ創傷スキンケアセミナー〔圏域医療・介護関係者〕



〔12/9〕君津地域訪問看護つなぐ会



〔12/16〕訪問看護基礎研修会



〔12/22〕かずさ創傷スキンケアセミナー

■出前講座

- 11月 30日(木) 健康寿命を延ばすカギ(理学療法士)〔君津教育会館〕
 2月 8日(木) 腰痛予防体操(理学療法士)〔君津市清和公民館〕
 2月 9日(金) バランスのとれた食生活(管理栄養士)〔木更津市富来田公民館〕



〔11/30〕君津教育会館



〔2/8〕君津市清和公民館



〔2/9〕木更津市富来田公民館



- 2月 15日(木) 第48回上総がんフォーラム〔医師会会員等〕
 2月 16日(金) 第24回かずさ創傷スキンケアセミナー〔圏域医療・介護関係者〕
 3月 10日(土) 第11回君津地域訪問看護つなぐ会〔圏域訪問看護関係者〕
 3月 16日(金) 第11回医療連携の集い〔圏域医療関係者〕



テーマ 君津地域が将来進むべき方向性シンポジウム(1)
 ～ 救急体制の現状と今後のあり方を考える ～

基調講演 「君津地域の救急体制の現状」

君津中央病院 救命救急センター長 北村伸哉

特別講演 「医療過疎地域の救急体制を崩壊させないために」

川越救急クリニック 院長

上原 淳 先生



(地域の医療従事者向け研修、出前講座及び地域連携室だよりに関する問合せは、地域連携室へ。)

発行：〒292-8535 千葉県木更津市桜井 1010 番地

君津中央病院企業団 国保直営総合病院 君津中央病院

地域医療センター 地域連携室 TEL 0438-36-1071